



木材流通推進協議会

木の情報で

今と未来と

産地と都市を繋ぐ

木材活用をネットワーク化して デジタルでサポートします

はじめに

社会環境の急速な変化により木材を利用する環境も変わってきています。2010年の公共建築物等木材利用促進法の施行、2015年の建築基準法の改正を受け、非住宅建築の木質化が進んでいます。また物流やサービス産業におけるIT化の進展は著しく、木材流通においてもITツールの活用による需要の把握、商品開発、物流コストの縮減などの大胆な変革が求められはじめました。そして木材の利用、特に国産材の拡大のためには、木材生産現場(川上)加工現場(川中)と木材流通業(川下)の情報の共有化による商品化やエンドユーザーの方々に向けた啓発活動など三位一体的な取組みが重要になります。

木材流通推進協議会とは

こうした状況の中、川上・川中・川下を繋ぎ木材の利用機会を増やそうと設立されたのが「木材流通推進協議会」です。木材流通推進協議会は2018年6月に設立しました。都内を中心とした木材小売店と製材所、卸売問屋の業界の川下のグループで運営に当たっています。テクノロジーの提案としてNECグループとの異業種で連携してプロジェクトを進めています。私たちは国産材の活用を図る新たな試みに意欲的に取り組みます。

木材利用については、「森林環境税・譲与税」の導入が控えており、今後、都市部においての木材利用が促進されることが期待されます。私達は都市部の木材利用に活路を見だし、川上への適正な木材対価の還元により充実期に入った森林資源の循環利用により森林・林業の成長産業としての地位の確立に寄与します。

主な取組み

川下・川中・川上を繋ぐ次の事業に取り組めます。

- ① ICTを活用して地域産材と都市部のニーズをマッチングするプラットフォームの構築
- ② 川上から川下までの木材活用のコーディネート
- ③ 産地との人的交流、設計者育成等の木材利用推進プロジェクト
- ④ 木材被写体認識技術を活用した商品検索、木育ツールなどの開発



情報交換会



伐採現場視察



被写体認証(木育ツール)



ICTプラットフォームの提案



製材所視察

活動実績

2018年

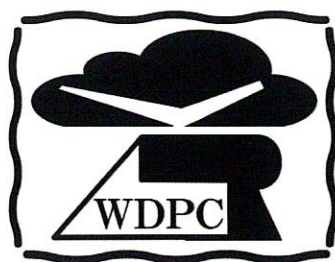
- 5月 第一回林野庁情報交換会
- 6月 全木連との情報交換
静岡県とのカウンタパート協議
真庭市とのカウンタパート協議
- 7月 第二回林野庁情報交換会
農林水産業みらいプロジェクト2018年度助成事業申請
【木の情報で今と未来と産地と都市を繋ぐICTプラットフォーム】
- 8月 日本財団ソーシャルイノベーションアワード2018応募
【木材被写体認識を使ったアクティブラーニングによる
木材建築設計者養成システムについて】
- 10月 木と暮らしのふれあい展 木材被写体認証展示
- 11月 多摩産材木工家具展 新宿駅西口広場 木材被写体認証展示
細田木材工業/TSCと共同展示
- 12月 多摩産材利用拡大フェア 新宿NSビル、木材被写体認証展示
東京都森林組合/細田木材工業/TSCとの共同展示

2019年

- 1月 モクコレ2019展示会 東京ビックサイト 木材被写体認証
東京都森林組合/細田木材工業/TSCとの共同展示、

役員

理事(会長)早川 金光
理事(副会長)青木 健太郎
理事(副会長)長谷川 博康
理事(常任理事)川崎 貴夫
理事(常任理事兼会計担当)草野 洋



〒136-0082
東京都江東区新木場2-1-8 全買連/都買連内
電話 03-6457-0688 FAX 03-6457-0689
E-mail: kusano@zenbairen.jp